

こんじきのこうべをさげて米実る

なす山が南湖にうつりかがみかな

外にでて空を見上げる桜雨

風鈴のきれいな音色ひびくへや

大勢のかん声ひびく馬の市

雨上がりふたつのにじが笑つてゐる

熱帯夜みんなといっしよに星を見る

手紙書く蝶がひらりとまう中で

蛩がり七つの光が空に行く

冬休み雪かきをしてあせをかく

白河の歴史をつなぐ夏祭り

ひまわりにわたしの身長こされたよ

あじさいにだいいだいいとあいこめて

ほりこたつねこも大すぎぼくもすぎ

夏休み日記に書いたたから物

もつとふれでつかく作る雪だるま

うりぼうのおなかのまようかわいいね

春休かたくりの花さくらもち

夏休みはくねつバトル父とチエス

初雪の白いじゅうたんダイブする

夏の朝きみの背中でせみがなく

風鈴が私の気もちひやしてる

笑みで待つ来たる我が番卒業式

木の下でかすかに咲いてゐるランの花

ほんおどりたいこ鳴らせばむねおどる

(白河第一小) 石岡 詩野

(白河第一小) 酒井 咲希

(白河第一小) 佐藤 莉亜

(白河第三小) 和 気 潜

(白河第三小) 中 前 緋咲

(白河第三小) 赤塚 功太郎

(白河第三小) 田 村 晴翔

(白河第三小) 吉見 莉緒奈

(白河第三小) 大 木 陽葵

(白河第三小) 小 山 田 侑恭

(白河第三小) 千 葉 蒼大

(白河第三小) 三 浦 優依

(白河第五小) 渡 邊 市柊

(白河第五小) 中 田 智喜

(白河第五小) 小 貫 凜桜

(白河第五小) 田 村 優斗

(白河第五小) 服 部 真依

(白河第五小) 真 藤 汰里

(白河第五小) 中 川 西 奏良

(白河第五小) 和 知 美葵

(白河第五小) 白 岩 凌空

(白河第五小) 澤 登 愛凜杏

(白河第五小) 佐 藤 さくら

(小田川小) 吉 田 凜太郎

(小田川小) 今 井 瑛

夏の日も白河ラーメン食べつくす

阿武隈の石までひびくセミの声

北風の勢いに負け来た風邪だ

昆虫教室外来種学び温暖化知る

たいやきのあんこのバランスふ平等

だるま市だるま買わずにすぐ帰る

いのししがランランランとあるいてる

泳いでる金魚ばちまで足早に

小峰城おとめ桜の秘伝説

紅葉狩り風冷えてゆく今し方

ラムネ飲み瓶からのぞく青い空

夜這い星あなたの一番願う夜

十五夜の月よりケーキの誕生日

夏祭りラムネのような涼しい恋

夏の花思い出すのはどんないろ

雨上がり虹のかけはしかけあしで

麦茶飲みノートを前に手が止まる

桜舞う古閑の道に影ひとつ

万博の暑さに挑む家族旅

海光る素足のままでかけてゆく

春風に花がほころぶ静けさよ

夏バテか不眠不休のエアコンも

春雨にゆれる南湖やよき故郷

卒業の涙は風に吹かれます

雪の朝カーテン越しに街ねむる

(小田川小) 遠 藤 愛実

(五箇小) 高 橋 壮大

(関辺小) 平 瀬 碧大

(みさか小) 栗 飯 原 旭

(みさか小) 高 橋 香帆

(表郷小) 緑 川 登雅

(表郷小) 小 野 楓真

(表郷小) 和 知 紅杏

(白河中央中) 渡 辺 陽菜

(白河中央中) 長 澤 莉央

(白河中央中) 内 田 結菜

(白河中央中) 鈴 木 涼介

(白河中央中) 酒 井 悠杜

(白河中央中) 草 野 莉那

(白河中央中) 眞 岡 陽愛

(白河第二中) 森 太 一

(白河第二中) 加 藤 麻乃

(白河第二中) 深 谷 珠莉

(白河第二中) 添 田 彩巴

(白河第二中) 高 畑 瑠伽

(白河第二中) 木 村 航

(白河第二中) 松 田 空磨

(白河第二中) 平 田 由良

(白河第二中) 込 田 陽菜

(白河第二中) 高 木 小和

◎ 奨励

桜散る音も立てずに道に積もる

夕風に二つの影が耳を貸す

緑陰でひと休みする子猫かな

自転車を押してゆく道秋日和

白河や桜に霞む関の跡

夏休み暇を閉じたら終った

木漏れ日にさらりと香るレモン水

こおろぎや芭蕉も聞いた関の夜

白河の関祖父とこえるや夏の雲

風りんの音色かがやく良き夜明け

カタクリの白河の関あふれけり

ダート戦タービー馬が駆けて行く

麗人にハイビスカスが相応ふ

帰る波来る波を食う浅蜷貝

雷鳴におびえたころを懐しむ

なつきたらいろいろみずはかせめさすんだ

ただいまの香炉の温もり盂蘭盆会

バーベキュー肉が飛んでく春一番

つくしたち一番目指し伸びてゆく

一年生たんぼぼみたいでかわいいな

関の月千年前の影を踏む

炎天にすかしてみたいしやけむすび

ビーサンが一つ浜辺にさびしけり

扇風機ノートの端を揺らしてる

炎天下とけゆく体を海が抱く

(白河第二中) 町田 優空

(白河第二中) 早山 彩夢

(白河第二中) 小田 しほり

(白河第二中) 古川 未麗

(白河第二中) 星 竜太

(白河第二中) 高橋 蓮音

(東北中) 兼子 心優

(白河南中) 片野 岳

(白河南中) 竹内 漣

(白河南中) 金澤 優来

(白河南中) 新井 莉恩

(白河南中) 砂川 正治

(白河南中) 星 愛梨

(表郷中) 穂積 英士

(東中) 坂本 陽

(羽太小) 伊藤 琴音

(松陽中) 佐藤 木実

(群馬県・城東小) 中村 衣都

(群馬県・城東小) 水出 迅

(群馬県・城東小) 高橋 凛有

(群馬県・倉渕中) 中澤 泰良

(埼玉県・名細小) 大室 史華

(東京都・井草中) 畑原 世梨

(東京都・井草中) 高嶋 湮生

(東京都・井草中) 下村 玲奈

舌の上夏がしみる

プールあとサイドに光る水たまり

バレンタイン黒閃光に荒い波

汗たらしのどにおしこむ溜の水

タンスから景色うつらぬサングラス

くすしきと唄う鳥らよ雲の峰

水たまり残して梅雨のあけにけり

歳時記をくりながら見る夏景色

いち早くてっぺんで咲けタチアオイ

そうじ前みんなが集まり日焼け止め

水泳の授業の後の睡魔かな

給食にアスバラガスとじゃがバター

歌舞伎座へ祖母の単衣を身にまとい

炎天下日陰に止めるスポーツカー

五人抜きシュートスパツと青嵐

土用波ジュースのごとく飲み込んで

一球に思いを込める玉の汗

スイカ食べいとこと九人で種飛ばし

油絵の青をのぞけば夏の海

夏の海足あとつけて走り出す

カーテンのすきまもれでる花火かな

関越えて旅の心に夏の月

鳥渡るやわらぐ風の路しるべ

虹の橋どこに架かるか探す昼

答案に書けぬ答えや秋の風

(東京都・井草中) 佐々木 道郎

(東京都・井草中) 中西 恒和

(東京都・井草中) 原 廉太郎

(東京都・井草中) 松田 拓

(東京都・井草中) 渡辺 琉太

(岡山県・東中) 野の はな

(福岡県・宮若東中) 小幡 大晴

(福岡県・宮若東中) 入来田 莉央

(福岡県・宮若東中) 森岡 真那斗

(福岡県・宮若東中) 堀 花

(福岡県・宮若東中) 嘉茂 蒼太

(福岡県・宮若東中) 河本 彪世

(福岡県・宮若東中) 佐藤 彩葉

(福岡県・古賀東中) 船越 太翔

(福岡県・古賀東中) 土谷 龍斗

(福岡県・古賀東中) 川原 真音

(福岡県・古賀東中) 山本 明佳

(福岡県・古賀東中) 高橋 祈里

(鹿児島・坂元中) 森田 奈結

(鹿児島・坂元中) 八木 乃咲

(鹿児島・坂元中) 松下 葵

(鹿児島・坂元中) 村岡 奈佳

(鹿児島・坂元中) 國本 七詩

(鹿児島・坂元中) 古里 芽衣

(鹿児島・坂元中) 深見 悠斗